



市整会 会報

大阪市立大学整形外科開業医会

No.49 2013年1月1日発行

(医)眞康会 整形外科鳴嶋クリニック
〒594-0071 和泉市府中町7-2-5
ロイヤルフラット和泉 1F
TEL0725-43-8088 FAX0725-43-8010

巻頭言

市整会副会長 安田 浩成 (昭和54年入局)

新年あけましておめでとうございます。

市整会は昨年4月の役員人事で鳴嶋真人先生が会長となり、新体制が発足しました。私は福利厚生担当の方から楯憲一郎先生の後任として副会長に任せられました。それまでは福利厚生担当で特に家族会の世話をしておりました。副会長の大役を果たせるかどうか不安ではありますが、出来る限り鳴嶋会長を支えて、市整会をより充実した組織にしていくのに少しでも力になれたらいいなと考えております。

この原稿は11月末に書いています。先日衆議院が解散し、12月16日に総選挙が行われます。民主党政権には期待外れでした。総理大臣は毎年変わり国際的信用を無くし、東日本大震災の復興もあまり進まず、それどころか復興支援金が復興に関係のないところに使われているなどの報道が流れ、情けない限りでため息をつくしかありません。政党が乱立し、これが会報に載るときにはどこが政権を取っているのかわかりませんが、どこであれ今の日本の政治経済が急によくなることは期待できません。私達医療関係者にとって診療報酬や消費税の問題などまだまだ厳しい状況が続くものと思われまます。

昨年は日本にとってうれしいこともいろいろありました。その中でも特に、私達の同門である山中伸弥教授がノーベル医学生理学賞を受賞したことには日本中が大いに沸きました。彼は信念を持って研究を続け、成果を上げました。あきらめずに努力することで道が開けたのだと思います。私達は彼のこれまでの努力を大いに讃え、また今後彼が再生医療の臨床応用で早期に正しい方向に

世界をリードしてくれることを期待します。

そして市整会では11月18日に市整会40周年記念祝賀会が行われました。鳴嶋新体制での初めての大きな行事で、4月から阪本邦雄先生を中心に準備委員会を立ち上げました。しかし途中で阪本先生が病気で倒れられ、結局祝賀会に参加できなかったことはとても残念なことでした。阪本先生にはいつかまた楽しく会えることを熱望しております。準備委員会の方はその後総務の斧出安弘先生が頑張ってくれて順調に準備が進みました。そして本番の祝賀会では100名を超える多数の参加者が集まり、記念式典と祝宴が無事楽しく、にぎやかに盛大に行われました。祝賀会の詳細はもうすぐ40周年記念誌が発行されますので、それに譲ります。ただこれまで市整会を大きく育ててきていただいた諸先輩の先生方には、心からお礼申し上げます。

今回の祝賀会には、来賓として大学から中村博亮教授、小池達也病院教授、伊藤陽一准教授、寺井秀富医局長が、そして勤務医部会から高見勝次会長の各先生方へ出席していただき、祝辞をいただきました。それぞれの先生が親しみやすく話ができ、楽しい時間を過ごせました。中村教授が教授である今でこそ、大学と勤務医部会と市整会の連携を密にできる時だと思えます。その形を作っていくように今後努めます。

その一つが昨年阪本先生が休診された時の代診で、大学は快く引き受けてくれました。ほぼ半年間の長期にわたって大学の先生方と後半は江口亮先生、武村永先生にも手伝っていただき、診察の穴を埋めることが出来ました。市整会は鳴嶋会長の考えのもとに相互扶助を基本にしており、代診

(2)

体制を作るように努めています。長期休診で代診が必要なときは市整会に相談してください。

福利厚生の方は、昨年からゴルフは長濱信一先生を中心に、田中直史先生、上野憲司先生、湊康行先生が担当してくれていて、昨年7月にはスケルトンゴルフコンペを花吉野ゴルフ倶楽部で、12月には市整会ゴルフコンペを泉ヶ丘カントリークラブで多数の参加で行うことが出来ました。家族

会は昨年はありませんでしたが、今年はまたみんなでも楽しめて、おいしいものを食べることが出来るように木下裕介先生とともに企画していきます。福利厚生係は頑張っております。どうぞ今年もゴルフに、家族会に多数ご参加くださいますようによろしく願いいたします。

最後に今年の皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。



第21回 市整会ゴルフコンペ

今年度のスケルトンコンペは7月29日に花吉野CCで、市整会コンペは12月9日に泉ヶ丘CCで行われました。夏のスケルトンコンペは猛暑の中、また冬の市整会コンペは雪の降る極寒の中と厳しい気候にもかかわらず多くの先生方に参加していただきました。スケルトンコンペでは全体的に好スコアの方が多く、中でも大草先生がホールインワンを出すという快挙を達成されました。反対に市整会コンペは耐寒ゴルフとなり皆さんスコアが振るわなかったようです。10位までの順位表は以下のとおりです。

また平成24年度より福利更生係のゴルフ担当を豊川英樹先生から引き継ぎ、我々4人体制で幹事を務めさせていただいております。未熟な私どもを指導して下さった楯憲一郎先生や安田浩成先生を始め諸先輩方に感謝いたします。来年度からもなお一層楽しい会にしていく所存ですので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

福利更生担当理事（ゴルフ） 文責 長濱信一（昭和59年入局）
田中直史（昭和56年入局）
上野憲司（昭和60年入局）
湊 康行（平成2年入局）

第19回スケルトンゴルフコンペ順位(敬称略) 参加者31名

		OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	馬野 隆信	44	46	90	19.2	70.8
2位	原 好延	44	44	88	16.8	71.2
3位	島田比呂志	43	44	87	15.6	71.4
4位	長濱 信一	49	53	102	30	72
5位	浦勇 武志	48	44	92	19.2	72.8
6位	楯 憲一郎	46	45	91	18	73
7位	林 正樹	41	43	84	10.8	73.2
8位	湊 康行	42	42	84	10.8	73.2
9位	田中 直史	42	41	83	9.6	73.4
10位	喜多 義将	45	39	84	9.6	74.4

第21回市整会ゴルフコンペ順位(敬称略) 参加者28名

		岩湧	金剛	GROSS	HDCP	NET
優勝	中州 裕	53	52	105	32.4	72.6
2位	吉中 正好	48	50	98	25.2	72.8
3位	島田比呂志	40	43	83	9.6	73.4
4位	中野 博友	49	52	101	27.6	73.4
5位	安田 浩成	54	50	104	30	74
6位	田中 直史	56	47	103	28.8	74.2
7位	上野 憲司	51	52	103	28.8	74.2
8位	楯 憲一郎	47	49	96	21.6	74.4
9位	頼 功	53	46	99	24	75
10位	浦勇 武志	58	47	105	30	75

市整会40周年記念式典・祝賀会

市整会副会長 増田 博（昭和57年入局）

さる平成24年11月18日(日)、ANAクラウンプラザホテルにて 市整会40周年記念式典及び祝賀会が盛大に行われた。

記念式典は16時30分からであったが、準備委員会委員等の役員は15時から集合し、名札の準備、テーブルの振り分け、祝賀会のビンゴゲームの賞品の陳列等を行なった。

16時から受付が始まり、続々と会員の先生及びご家族が集合された。

16時30分、病気療養中の市整会副会長阪本邦雄先生からお祝いの言葉と開会宣言を書面でいただいていたので、それを森川献志漢先生が代読し、阪本先生の早期回復を祈るコメントも述べられた。

斧出安弘先生による総司会会で記念式典はすすみ、まず、市整会会長鳴嶋真人先生より会長の挨拶がなされ、その後、来賓の先生の紹介があった。来賓は中村博亮教授、小池達也病院教授、伊藤陽一准教授、寺井秀富医局長、高見勝次勤務医部会会長の各先生であり、来賓を代表して、中村教授、高見勤務医部会会長よりご挨拶をいただいた。

次に功労者表彰が行われた。会長歴任者として南平克積先生、頼功先生に、特別功労者として石崎嘉昭先生、上田晏弘先生、黒田晃司先生、楯憲一郎先生に表彰状と花束の贈呈が行われ、それぞれの先生から受賞に対する思いを言葉にしていた。花束の贈呈に際しては秋野裕美さま、伊藤千智さまにお手伝いいただいた。

記念式典は和やかななかにも、おごそかな雰囲気の中無事終了し、式典閉会のあいさつを市整会副会長の安田浩成先生が述べられた。

引き続き、17時から斧出先生の司会のもと記念祝賀会が始まった。

前市整会会長の頼功先生から開会のあいさつをいただき、伊藤成幸先生の乾杯のご発声でいよいよ大宴会の幕開けとなった。乾杯のご発声と同時に女性ジャズコーラスグループ ハーミスのピアノによる演奏も始まり、祝宴の雰囲気を盛り上げてくれた。祝宴の最中に天野祐一先生に作成して

いただいた過去の市整会の周年時記念等のスライドの上映がなされた。その中にはかなり以前のスライドもあり、ご出席の先生方の若い時の写真や懐かしい先生の写真を見ることができた。また、長田明先生が過去を振り返って市整会の歴史等を披露してくれた。

そしてアトラクションとして、ハーミスの歌声・演奏があり祝宴を大いに盛り上げてくれた。そしていよいよ待ちに待った大ビンゴゲームが始まった。豪華賞品としてルンバ、アイパッド、高級ワインとかがあり、ビンゴとの声がかかるたびに大歓声がわき、さらに祝宴が盛り上がった。そして祝宴も佳境に入ったところで整形ソングの大合唱を木下孟先生のお言葉の後、行った。市整会の準備委員会、理事会等で整形ソングを何度も練習したが、この時に一番うまく歌え、すべての先生の気持ちが一つになったと感じた。開宴からの楽しい時間はあっという間に過ぎ、祝宴閉会のあいさつを市整会副会長の小生が、また祝賀会閉会あいさつと総括を元市整会会長の南平克積先生にさせていただき、無事終了した。

祝賀会終了後もしばらく祝宴の余韻があり、解散するのが心残りであった。お土産には紅白饅頭と市整会のロゴの入ったクオカードが配られた。鳴嶋先生、阪本先生、斧出先生をはじめ、準備委員会の皆様方の周到な準備の元、このような素晴らしい会が執り行われた。皆様、本当にありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

自己紹介

田口クリニック 整形外科 田口 晋

(平成13年入局)

平成23年4月より奈良県生駒市の田口クリニックで整形外科を開業しました田口晋です。よろしくお願いいたします。当クリニックは、外科医の父より受け継ぎまして、現在は兄が院長となって内科を担当し、私が副院長で整外外科を担当する兄弟経営をしています。職歴は、兵庫医科大学を卒業後、同大学の整形外科に入局し、付属病院で研修後、翌年淀川キリスト教病院で研修、その流れで大阪市大整形外科に入局いたしました。かねてから基礎研究にも興味があり、やがて大学院に進学させて頂き、院ではBMPの臨床応用に関連した基礎実験に従事いたしました。その後大学病院、阪和住吉病院で腫瘍症例中心に経験を重ね、さらにギアを挙げようとした矢先、この度実家で整形外科の立ち上げをする事になりました。既存の建物、人、システムを利用した開業は意外に

厄介なもので当初調整に苦労しましたがなんとか軌道に乗せることができ一息ついてる所です。地域の人々に必要とされる整形外科を目指し日々切磋琢磨しております。今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。



自己紹介

整形外科たかひろクリニック 飯田 高広

(平成14年入局)

本年7月2日より、西宮市瓦林で「整形外科たかひろクリニック」を開業している飯田高広です。滋賀県立医科大学卒業後、大阪市立大学医学部付属病院、大阪市立総合医療センター、大阪府済生会中津病院、大阪府立中河内救命救急センター、白浜はまゆう病院にて事故などの外傷、膝や股関節などの関節外科疾患を中心に診療に従事しておりました。

今までの整形外科医としての経験を生かし、兵庫県西宮市に開院させていただきました。

今後は、今まで培ってきた専門とする膝関節疾患を始め、腰痛、骨折や脱臼から、ちょっとした怪我まであらゆる整形外科疾患に対応し、地域の患者様の幸せを考え、患者様が納得した治療、医療を受ける事が出来るクリニックを目指し

ていきたいと思っております。

まだまだ、未熟で諸先輩方にはご迷惑をおかけするとはおもいますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



(6)

くるま道楽5

阪本 博史 (昭和59年入局)

この時期の、
車事情。

11月のはじめに、トヨタがリコールを発表しました。10年以上遡り、100万台以上の車が適応となるそうです。また、トヨタ車です。低速でハンドルをいっぱい切ったときに、エンジンが止まることのあるのが、理由だそうです。この症状はちょっと昔のオートマ車ならちょくちょく見られた症状で、故障ではないはず。なぜ、トヨタばかりがリコールを発表するのか？



では、トヨタの車は、そんなに故障が多いのか？

いえいえ、その反対でしょう。トヨタ車は、世界でも最高レベルの品質と、故障の少なさを誇るメーカーだと思います。某海外ブランドメーカーなどは、6ヶ月点検など、点検のたびに問題となる部品を次々にこっそり交換して、リコールの報告なしに、修理してしまいます。だから、同じ年式の車の同じ部分のパーツでも品番がちがって



GMもベンツもBMWも日産もVWもプジョーも、あのボルボでさえ、そんなにリコールの発表はありません。



たりすることはしょっちゅうです。では、なぜ、リコールを発表するのか？これは、ただただ、メーカーの品質管理に対する姿勢の宣伝としか考えられません。というも、トヨタのリコールが始まったのは、たしか、フロアマットが、アクセルに引っかかって戻らずに衝突した事故がアメリカであってからだと記憶しています。激しいトヨタバッシングが起り、それに懲りたのか、トヨタはリコールを積極的に発表するようになったようです。ただのフロアマット一枚のせいで…

【ノスタルジックヒーロー】

今回は、日本のライトウェイトスポーツカーの先駆けとなったくるまです。

『ホンダS800』

昭和63年に4気筒DOHCの500cc,S500が発表され、続いて600ccのS600、最終モデルで、800ccにボアアップしたS800と進化していったご存知のスポーツカーです。S600までは、オートバイのホンダらしくチェーンドライブで、発進の時に、チェーンが伸



びてくると、「ガチャン」とチェーンが噛む感触が伝わってくる、面白い乗り心地でした。モータースポーツの入門車として、ホンダ得意の高回転、高出力のエンジンを載せた軽量のボディで、モータースポーツの入門車としては、手ごろな値段で最適の車でした。昭和16年発売の最終モデルのS800は、京浜製4連キャブレターのオールアルミエンジンで車重750kg、出力は70馬力/8000rpmで、タコメーターのレッドゾーンはなんと8500k回転から。価格は75万円。動力性能、足回りは良いのですが、ボディは薄っぺらく塗装は最悪、内装も材質が悪く安っぽく、すぐにヨタッテしまう、もちの悪いクルマでした。



(写真参照)

【今回お薦めのくるま】

またまた、ベンツです。

今回は、お薦めというよりは、「思いのほか安く買えそうなSクラス」です。

25年夏にSクラスがフルモデルチェンジします。在庫処分が春ごろから始まります。うまく行けば、S350なら100万円以上の値引きがあるかもしれません。ほぼ、Eクラスと同じ価格帯になってしまいます。お薦めです。

最後に、また、くるまを買いました。【ベンツ SL55 AMG】やはり500馬力超は凄いです。乗り心地は、次回に報告します…

最近フランス製のジオラマ付きミニカーにはまっています、そのコレクションに躍起となっています。夜な夜なフランスのサイトに入って、オークションで収集しています。写真はその一部と、私が作ったジオラマです。



ブラジルW杯に向けて

木下 裕介 (平成7年入局)

11月14日にブラジルW杯のアジア最終予選のオマーン戦が敵地オマーンで行われました。結果は、ご存じのように2-1で日本が勝ち予選突破に大きく繋がる勝ち点3を獲得しました。内容的には決して満足のいくものではないと感じましたが、勝ち点を積み上げた事でOKかな、とも思いました。

10月12日にフランスで行われたフランス戦、16日にポーランドで行われたブラジル戦、そして今回のオマーン戦の3試合より今の日本代表の実力が見え隠れするように思います。

フランス戦は、圧倒的な攻撃力で一方的に攻め込まれながらも終了間際に1点をもぎ取り逃げ切った試合であり、ブラジル戦では、随所に日本らしい良い攻撃を見せそれなりに手応えを掴んだものの結果は4-0の大敗、オマーン戦は、同点に追いつかれた後に底力を見せた試合だったと思います。

この3試合で感じた僕なりの考えを書いてみたいと思います。

まず、長谷部選手と遠藤選手の代わりの選手を育ててほしいです。親善試合で長谷部、遠藤選手をあえてはずし、控えの細貝、高橋選手やディフェンダーの選手、又はオリンピック世代の若い選手を使うなど色々なトライアルが必要と感じました。次に本田選手をどのポジションで使うかです。理想的にはトップ下なのですが、トップ下だと相手選手のタイトなマークにあうため彼の良さが十分生かされていないように感じます。ポジションを一つ下げ長谷部、遠藤、本田でトライアングルを組み、流動的に3人の内2人でボランチを組み残った1人が攻め上がってはどうかと思います。そして将来的には本田選手には、強力なボランチになって欲しいとも思います。

その次は、トップを誰にするかです。フランス戦では、ハーフナー・マイク選手、ブラジル戦は本田選手、オマーン戦は前田選手でした。対戦相手がアジア諸国であれば、その時に調子の良い選手で良いと思います。相手が世界トップクラスに

なるとそうもいかなくなります。高さのあるフランスに対しハーフナー・マイク選手を起用したのですが、はっきり言って通用しなかったように思います。恐らく身体能力の高いアフリカ諸国や体の大きい北欧やドイツ、守りの堅いイタリアなどにも厳しいと思います。本田選手は、とにかく強く相手が誰であってもボールをキープすることができトップにはもってこいと思うのですが、やはり勿体ない気がします。後半残り10分でどうしても1点欲しい時にトップに置きたい選手です。

僕がベストと思うのは、派手さはないですが何とも言えない得点嗅覚を持つ前田選手を軸に、2列目から飛び出してくる選手(岡崎選手や広島佐藤選手)、巧みなパスワークで相手を崩せる選手(清武選手や乾選手)、スピードのある選手(宮市選手)、ドリブルのうまい選手(宇佐良選手)らを対戦相手によって組み合わせ、2人のフォワードを自由に操れる場所に香川選手を配置して欲しいと思います。

一方日本の守備は、ほぼ完璧だと思います。特に両サイドは強力で長友選手、内田選手、酒井選手(2名)そして駒野選手が存在し安定感、スピード、体力、パスの精度どれをとっても超一流だと思います。

とにかくにもW杯の出場権は、ほぼ手中に収めたと日本中のサッカーファンは思っているはずです。後はレベルアップです。次のヨルダン戦で切符を獲得し、ホームで行われるオーストラリア戦、アウエーのイラク戦では、色々な選手を組み合わせて日本代表の底上げに繋がる様な試合にしてもらいたいです。

メール、ワープロの音声入力について

宮脇 裕二（昭和55年入局）

今回はMacの音声入力について記事を書かせていただきます。キーボードを使っての日本語の入力は電子カルテ入力、ワープロでの文書作成およびメールの文面作成などいろいろな場面で使用されます。しかしキーボードもなかなか年配の先生方にとって煩わしいものの1つであります。そうでなくともアルツ、スベニールの関節注射で腱鞘炎になりかけの此の頃なので、音声入力はとても有効なツールとなります。今回MacのOSがバージョンアップされMountain Lionになりました。それに伴い従来ではできなかった音声入力が可能となり、ワープロ、メールその他いろんな局面で音声入力の使用が可能となりました。実はこの記事も音声入力で書いております。実際の診療では紹介状や返事を音声入力で書いております。

それでは具体的にどのように音声入力を使用して文章やメールを作っていくかということについてお話をさせていただきます。方法の1つはMacそのものに話しかけて音声入力をするという方法です。このためにはMacの最新のOSと最新のハードウェアが必要となります。具体的にはMac Book ProあるいはMacBook Air等を使用したほうが良いと思われます。なぜなら最新の機種では入力のマイクが2つ取り付けられていて音声識別の際にマイク2つあることで日本語変換がよりスムーズに行われるという利点があります。Apple純正のワープロソフトPages（これはiWorksというソフトを購入すれば中に付いてきます。WindowsのOfficeにあたるものですが、価格ははるかに安いです）が必要となります。

MacのMicrosoft製のWordでもいいのですが、後で述べますiPhone 5との併用を考えれば、Pagesの方が好ましいと考えられます。

まずMac側の準備ですが、システム環境設定で音声入力と読み上げを選択します（図1）。次に音声入力を入りにします。そうすることによってファンクションキー（fn）を2回押すことで音声入力モードとなります。

それでは実際にPagesの新規文書作成画面を立

ち上げ、ファンクションキーを2回押してみましょう。するとマイクのアイコンがでてきますので、Macに向かって何かしゃべりかけてみましょう。1文の入力が完了したら完了ボタンを押します。そうするとそれが順次日本語となって文書内に入力されて行きます。最初は変換がうまくいかないこともありますがそれは学習されて徐々に良くなっていきます。

しかし実際一番音声入力を使用するのは携帯電話のiPhoneの方です。iPhoneの方が使用頻度が高いため変換効率がどうしてもマックよりも良くなります（図2）。そこでお勧めするのは次の方法です。音声入力は主にiPhone 5を使って行いその結果をマックのPagesのほうに反映させるということです。そのためにはiPhone 5用のPagesをアプリとして購入する必要があります。iPhone 5の入力キーボードの中にあるマイクボタンを押して日本語入力を開始します（図3）。

iPhone 5のPagesの文章中に日本語が次々と入力されていきます。この文書ファイルに名前を付けておき、iPhone 5とMacで同一のiCloudを使用する環境にしておくと、iPhone 5で入力した文書がMacのPagesを開いたときにそのまま現れてきます。2台使いは少し難しいかな？でも便利です。もう一つの理由はiPhoneファ

図1



図2



図 3



イブの変換辞書がかなり賢いことです。かなりの一般的な医学用語がもう既に登録されていますのであとはより専門的な用語を登録するだけです。

では次にMacはどこで購入すべきかということについてお話しします。Macは量販店で買っても値引きが少ないのでApple Storeで買うことをオススメしま

す。アップル直営店は心齋橋、大丸の前にあり、そこで購入し、追加で9,800円を支払うとOne To Oneパーソナルトレーニングを受けることができるようになります。この個別レッスンは1年間受講可能で通常のパソコンスクールではもし同じサービスを受けるとなると、さらに高額のものなると思われます。このサービスはあまり知られていませんので有名になると予約が取りにくくなるかも。Mac初心者の先生方にとっては個人レッスンはとても有用なトレーニングと思われるので、ぜひご利用ください。

最近iPad miniが出ましたが、これ1台でもかなりやれそうです。詳細は次回に。

編集後記

市整会40周年記念式典も無事盛大に終了して、さーこれから40周年記念誌の編集だという勢いで、今回の会報も作っております。時間的に記念誌への投稿を多く依頼いたしましたので、会報の方は少し薄くなってしまいましたが、お許しください。市整会の執行部も世代交代をいたしまして、巻頭

言も安田先生に初めてお願いいたしました。新規入会の先生方も御投稿いただきありがとうございました。

次回よりさらに充実した内容の会報に仕上げたいと思いますので、ご指導ご鞭撻よろしくお願ひ申し上げます。 (広報：宮脇裕二)